

中央図書館の「日本図書館協会建築賞」受賞について

令和３年３月２８日に移転改築した板橋区立中央図書館が、日本図書館協会が主催する「日本図書館協会建築賞」を受賞することが決定した。

１ 概要

(1) 板橋区立中央図書館

令和３年３月２８日に板橋区平和公園内に移転改築。いたばしBOROニア絵本館が併設となり、BOROニア・ギャラリーを設置するなど、豊かな緑に囲まれた環境で「公園一体型図書館」として新たに生まれ変わり、運営している。

(2) 日本図書館協会建築賞

図書館建築賞は「優れた図書館建築を顕彰し、これを広く世に知らせることによって、日本の図書館建築の水準の向上に寄与すること」を意図して、1984年に日本図書館協会により創設された。賞の特徴としては、「特定の用途における建築物や建築空間のみ」を対象とし、ソフトとハードの両面から評価されるものであり、建築としての質だけでなく、サービスも審査の対象となる。

２ 板橋区立中央図書館の所有者・設計者・施工者

(1) 所有者

板橋区

(2) 対象施設

板橋区立中央図書館

(3) 設計者

(株)松田平田設計

(4) 施工者

大成・瀧島建設共同企業体、渡部・アイコウ建設共同企業体、栄幸・豊隆建設共同企業体、(株)木村工業、(株)日立ビルシステム

３ 受賞理由

- ・ 人工芝の広場を設け、家族連れの図書館利用のきっかけを生み出すなど、公園と一体となった図書館づくり
- ・ BOROニアとの交流から始まった、約３万冊の世界中の絵本と触れ合える「いたばしBOROニア絵本館」の取組
- ・ 館内の吹き抜けも緩やかにズレながら繋がり、上階に行くほど静かになる音のゾーニング
- ・ 環境に配慮し、室内から公園の緑が見えつつも、日射遮蔽を両立させた水平ルーバー
- ・ 「ベビーカー置き場」などを館内サインでわかりやすく表示し、利用者目線できめ細かく丁寧な図書館づくり

４ 受賞のメリット

- ・ 賞状及びプレートの受領
- ・ 図書館協会発刊の雑誌への掲載